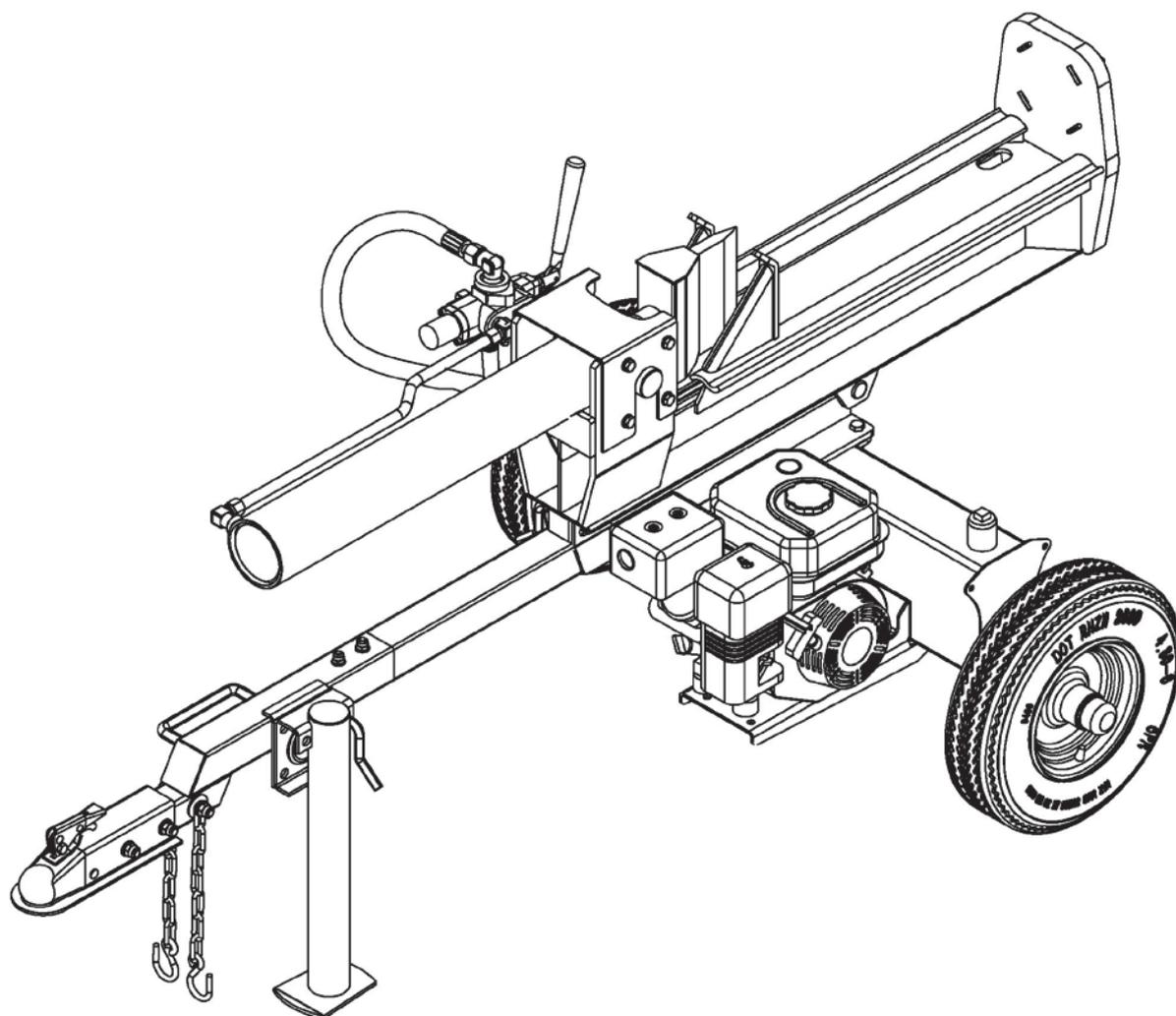


22tエンジン式薪割機 取扱説明書



お願い

- ・ 薪割り機を操作する前に、この取扱説明書をよくお読み下さい。
- ・ 操作方法や機能を十分に理解した上で使用して下さい。
- ・ この説明書はいつでも参照できるように大切に保存して下さい。

安全に使用するために



警告



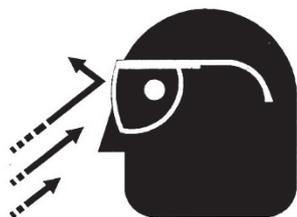
1.) 本マニュアルを良く読んで下さい。

- ・指示に従わない場合、重大なケガや死に至るおそれがあります。
- ・安全ルール、作業方法、保守方法を良く理解した上で使用して下さい。
- ・お子様、もしくは使い方が分からない人は絶対に使用しないで下さい。
- ・薪割機から離れる場合は必ずエンジンを切して下さい。



2.) ケガの危険

- ・くさび部により怪我をする危険があります。両手をくさびとラムプレートに近づけないで下さい。
- ・作業員以外の方が近くにいると事故になるおそれがあるので、薪割機に近づかないよう注意して下さい。
- ・適切な服装で作業して下さい。
- ・日中のみの作業とし、夜は作業しないようにして下さい。



3.) 破片が飛び散ります。

- ・稼働中は薪の破片が飛び散り眼に怪我をするおそれがあります。保護メガネ等を使用して下さい。



4.) 皮膚への危険

高圧のオイルが皮膚に触れた場合、切断等の重大な事故のおそれがあります。

- ・作業前に全部品がしっかりと固定されているか確認して下さい。
- ・整備、修理等をする場合に圧力はかけないで下さい。
- ・オイル漏れの確認は手でしないで下さい。手の代わりに板等を使用して下さい。
- ・皮膚に高圧のオイルが触れた場合、ただちに医師の診察を受けて下さい。

これらの指示を守って下さい。

危険表示の意味

	<p>この表示は安全警告マークです。 発生しうる人身被害を警告しています。 従わないとケガや死に至る場合があります。</p>
	<p>危険マークは発生する可能性が高い危険を示しています。従わないと重大なケガや死に至る場合があります。</p>
	<p>警告マークは発生しうる危険を示しています。従わないと重大なケガや死に至る場合があります。</p>
	<p>注意マークは発生しうる危険を示しています。従わないと軽度もしくはそれ以上のケガにつながります。</p>
	<p>注意マーク（安全警告表示なし）は発生しうる危険を示しています。 従わないと物損につながります。</p>

燃料の給油について

1. 新鮮な無鉛レギュラーガソリンのみを使用して下さい。
2. 2サイクル用混合燃料は絶対に使用しないで下さい。
3. 燃料タンクのキャップを取外し、ゆっくりと燃料をタンクに注入して下さい。
燃料は入れすぎないようにして下さい。
4. 給油が終わったら燃料のキャップを閉めて下さい。こぼれた燃料はきれいに拭き取って下さい。

警告

排気ガスに含まれる一酸化炭素・有害物質により、中毒や死に至る場合があります。
換気設備があっても屋内では使用しないで下さい。
屋外でのみの使用とし、屋内では絶対に使用しないで下さい。

注意

- ・ 排気ガスにより火災になる危険があります。ガソリンは高い燃焼性があり、爆発します。
燃料に接触すると火傷等の怪我につながります。
- ・ 燃えやすいものはマフラーからを約 2.5m以上離して下さい。
給油時は必ずエンジンが停止したことを確認し、熱、火花、火気から離して下さい。
エンジン付近での喫煙はしないで下さい。
- ・ 燃料の保管と取扱いは屋外のみで行って下さい。
ガソリンは引火して爆発する危険性があります。
- ・ マフラーの改造等は止めて下さい。火災になるおそれがあります。
- ・ 燃料タンクや燃料ラインの改造等は止めて下さい。火災になるおそれがあります。
- ・ 使用前・エンジンを始動する前に燃料タンクと燃料ラインから燃料漏れがないか確認して下さい。燃料が漏れていると火災の危険があります。

油圧作動油の注入

1. 作動油を注入・追加する際は薪割り機を水平な場所へ設置してから行って下さい。
2. オイルタンクからキャップを外して下さい。
3. オイルタンクの注入口からV G 32 番手の油圧作動油（タービンオイル）を約 10ℓ注入します。
4. キャップに付属のレベルゲージでオイルの量を確認して下さい。
5. エンジンを始動し、コントロールレバーを前後に操作してシリンダーを動かし、油圧回路中のエア抜きを行って下さい。（3往復程度）
6. エア抜きが終わったら、シリンダーを縮めた状態で再びオイル量を確認し、必要に応じてオイルを追油して下さい。

※オイル量が足りない場合やエア抜きが不十分な場合、オイルパイプ(#43)内のオイルが空気混入により白濁状態になる事があります。

その際は、濁りが落ち着く迄時間を空けてから追油作業を行って下さい。

警告

エンジンが作動中または、高温時はオイルタンクのキャップを外さないで下さい。
吹き出した高温の作動油によって火傷を引き起こすおそれがあります。
キャップは必ず冷間時に取り外して下さい。

＞高圧のオイルが皮膚に触れた場合、切断等の重大な事故のおそれがあります。

- ・作業前に全部品がしっかりと固定されているか確認して下さい。
- ・整備、修理等をする場合に圧力はかけないで下さい。
- ・オイル漏れの確認は手でしないで下さい。手の代わりに板等を使用して下さい。
- ・皮膚に高圧のオイルが触れた場合、ただちに医師の診察を受けて下さい。

※補足

- ・本機を斜めの場所で使用した場合、及び過剰に注入した場合、作動油の注入口の空気穴から作動油が吹き出る場合があります。
その場合は、本機を水平に修正してからご使用下さい。
- ・作動油の注入口の空気穴はふさがらないで下さい。故障の原因となります。
- ・構造上、作動油がにじみ出る箇所（可動部など）がありますが異状ではありません。
作動油を拭き取ってご使用下さい。
- ・連続して長時間使用した場合、油圧シリンダーやギアポンプが高温になる場合があります。
- ・変質した燃料や指定外の燃料や作動油を使用した場合の本機の不具合は保証の対象外です。
- ・長期間（概ね 1 ヶ月以上）使用しない場合は、ガソリンタンク及びキャブレター内の燃料を抜いてから保管して下さい。
- ・新品エンジンの場合、最初の 20 時間程度はならし運転期間とし、20 時間以上使用した際はエンジンオイルの交換を行ってから継続使用をして下さい。
- ・ビームとラムプレートの摺動部は、定期的に適宜グリスアップし木くず等を除去して下さい。
- ・本体移動時にはオイルパイプが地面に擦れないように注意して下さい。
- ・本機を長期間移動させなかった場合、移動用のタイヤが変形する場合があります。
- ・本機のエンジンは寒冷地仕様ではありません。

操作方法

警告

薪割り機を操作する前に、以下の説明と警告を確認してください。
これらの指示に従わない場合、物的損害や人的被害が発生する可能性があります。

警告

薪割り機は薪割り作業のみに使用して下さい。
薪割り作業は木材の木目方向に沿ってのみ行って下さい。
木が割れない場合は無理に割らないで下さい。本機が破損するおそれがあります。
薪割り機を改造しないで下さい。保証の対象外になります。
コントロールレバーにロープやケーブルなどを取り付けしないで下さい。
薪割り機での作業は日中の明るい時のみ行って下さい。
エンジンをかけたまま薪割り機から離れないで下さい。
薪割り作業中、エンジンとの接触に十分注意して下さい。
高温の部分での火傷の可能性があります。
必ずビームがロック位置にあることを確認して下さい。
木材をビームに乗せる際に、木材を投げないで下さい。
薪割り機を破損させる可能性があります。
アルコールや薬物を服用した状態で薪割り機を操作しないで下さい。

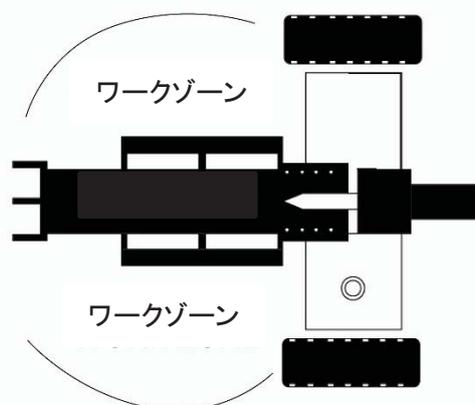
操作方法

1. 使用前に作動油の量をチェックして、ホースや部品に異状がないか確認して下さい。
2. 始動前にエンジンとエンジンオイルの量を確認して下さい。
3. 薪割り機を移動する際はタイヤの空気圧が不足していないか確認して下さい。

警告

タイヤの空気圧を必要以上に上げた場合、タイヤが破裂して重傷を負うおそれがあります。
タイヤが摩耗した場合、パンクしている場合は薪割り機を移動させないで下さい。
8 km/h 以上の速度で薪割り機を引かないで下さい。
薪割り機に人を載せたり、荷物を運んだりしないで下さい。
輪止め等を使用して薪割り機が動かないようにして下さい。

5. 薪割機は燃えやすいものや危険物の近くでは操作しないで下さい。
乾いた足場の良い平らな場所に設置してください。
ぬかるんだ場所や氷、雪上、草むら等で作業しないで下さい。
薪割機の操作時は動きやすい環境を常に確保して下さい。



注意：作業中はワークゾーンの中に作業者以外の人を近づけないで下さい。
重大な事故が発生する可能性があります。

6. 薪割り機の操作時は防護メガネや手袋、安全靴などを着用して下さい。
7. エンジンの始動・操作前に、薪割り機が水平な場所にあることを確認して下さい。

注意：作動油が -12°C 以下の状態でエンジンを始動させるとギアポンプが破損する
おそれがあります。
外気温が 0°C 未満の場合は木を割る前に数回シリンダーを動かすなどの暖気運転を
行って下さい。

8. 前脚を地面に設置させ、輪止め等で薪割り機のタイヤを固定して下さい。
9. 薪割り機を水平に設置します。
10. ビームのクサビ側に 木材を載せます。(最大約 63.5cm)
11. 手がクサビやラムプレートから離していることを確認して下さい。

⚠警告

クサビ部により怪我をする危険があります。
両手をクサビとラムプレートに近づけないで下さい。

- ・ 作業者以外の方が近くにいると事故になる可能性があるので、薪割機に近づかないよう注意して下さい。
- ・ 適切な服装で作業して下さい。
- ・ 明るい日中のみの作業とし、夜間は作業しないようにして下さい。

12. 片手でコントロールレバーを (FORWARD) 側に押し木材を割ります。
13. 木材が割れたら、片手でコントロールレバーを (BACKWARD) 側に押しラムプレートを元の位置に戻します。

⚠注意

木がクサビにはまりこんでしまった場合、シリンダーを縮めた状態で手で取り除いて下さい。
手で外れない場合は薪割機のエンジンを止め、ハンマーやバールを使い取除いて下さい。

14. ワークゾーン内の散乱した木材やゴミは常に整理し取り除いて下さい。

メンテナンス・保管

警告

不適切なメンテナンスや保管によって生じた故障・不具合等は保証の対象外となる場合があります。

メンテナンス

- メンテナンスの前に、エンジンが停止した状態でコントロールレバーを前後に数回動かし、薪割り機の油圧回路内の油圧を解放して下さい。
- メンテナンス後は使用前にすべての部品を元通りに戻して下さい。
- 操作前にタイヤに空気が入っていることを確認して下さい。
- 車軸とホイールのベアリング部は定期的にグリスアップして下さい。
- グリスアップのため車軸からホイールを外した場合は、グリスアップ後に確実に組み付けて下さい。
- ホースの締め付け具合や、ボルトナットの緩みがないか定期的にチェックして下さい。
- 定期的に可動部をクリーニングして、注油して下さい。
- 本体の塗装が剥がれたり、傷がある場合はスプレーペイント等で補修して下さい。
- 木が割れない場合は無理に割らないで下さい。本機が破損するおそれがあります。

何を	いつ	どのように
ホース類	使用毎	漏れや亀裂がないか。 エンジンをかける前に摩耗や破損したホースは交換して下さい。
油圧回路部品	使用毎	クラックや漏れを確認して下さい。 エンジンをかける前に、破損部品は交換して下さい。
ナット・ボルト	使用毎	ボルトの緩みを確認して下さい。
ビーム	使用毎	ビームの表面にグリースを塗って下さい。
可動部	使用毎	木屑等は取り除いて下さい。

エンジンのメンテナンスについてご不明な点は、販売店及び専門家へご相談下さい。

重要:

部品を交換する場合は、メーカー提供品またはメーカー仕様を満たす部品を使用して下さい。
仕様を満たさない部品の使用は安全上の問題や、動作不良を引き起こすおそれがあります。

保管

- 保管前に汚れや錆、水分を取り除き、十分に乾燥させて下さい。
- 錆の防止のため薪割り機本体にワックス等をかけ、可動部には注油して下さい。
- 湿気の少ない屋内にて保管して下さい。

トラブルシューティング

問題		
シリンダーロッドが動かない。	解決: A, D, E, H, J	
シリンダーシャフトのスピードが遅い。(伸ばす時と引込ませる時)	解決: A, B, C, H, I, K, L	
薪が割れない、動作が非常に遅い。	解決: A, B, C, F, I, K	
薪割り中にエンジンの回転数が落ちる。	解決: G, L	
低い負荷でエンジンが止まる。	解決: D, E, L, M	
原因	解決	
A-作動油が足りない。	作動油の量を確認して下さい。	
B-油圧回路に空気が混入している。	作動油の量を確認して下さい。	
C-ポンプの圧力が低い。	ホースの詰まりやねじれを確認して下さい。	
D-油圧回路の詰まり。	油圧回路の洗浄・清掃をして下さい。	
E-コントロールバルブの詰まり。	油圧回路を洗浄・清掃をして下さい。	
F-コントロールバルブ設定圧が低い。	コントロールバルブの調整。	お買上の販売店へ連絡して下さい。
G-コントロールバルブ設定圧が高い。	コントロールバルブの調整。	
H-コントロールバルブの破損。	コントロールバルブの修理	
I-コントロールバルブ内部の漏れ。	コントロールバルブの修理	
J-シリンダー内部の漏れ。	シリンダーの修理	
K-シリンダーの破損。	シリンダーの修理	
L-エンジンコントロールの調整の不良。	コントロールナットを調整	
M-停止中にエンジンに負荷がかかっている。	薪を50cm以下にして、接触する前にエンジンのスピードを上げて下さい。	

薪割機本体仕様

最大破砕力.....	22トン
サイクルタイム.....	13秒
割れる薪の最大長さ.....	25インチ（約63.5センチ）
油圧シリンダーのサイズ.....	4インチ×23インチ（約10cm×59cm）
最大圧力.....	45Mpa
ギアポンプの種類.....	2ステージ
移動時の最高速度.....	約8km/h
タイヤサイズ.....	16/4.80-8
エンジンの出力.....	エンジンの仕様を参照して下さい

エンジン仕様

メーカー	LONCIN
エンジン型式	G200F
エンジン種類	4サイクルOHV 空冷単気筒
排気量 (cm ³)	196 cm ³
定格出力	4.1kw/3600rpm
最大トルク	12.4N·m/2500rpm
ボア×ストローク (mm)	68 x 54mm
始動方式	リコイルスターター
使用燃料	無鉛レギュラーガソリン
使用エンジンオイル・容量	SAE10W-30 ガソリンエンジン用 0.5~0.6ℓ
重量 (kg)	16 kg